ストラブ・分岐カップリング GTタイプ

# 取扱説明書

取付け作業を行う前に、必ず『**安全上のご注意**』をお読みのうえ、『**施工手順書**』に従って、正しくご使用下さい。
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは、下記の営業所にお問い合わせ下さい。


■**東京営業所**：〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町 7-8
TEL. 03-6861-7411（代表）　FAX. 03-6861-7421

■**大阪営業所**：〒536-0022　大阪市城東区永田3-12-15
TEL. 06-6965-7235（代表）　FAX. 06-6965-7236

■**HPアドレス**：http://www.sb-coupling.co.jp/


## 安全上のご注意 【必ずお守り下さい】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

**■絵記号の意味**

| | |
|---|---|
| ⚠ 注意 | 注意（危険・警告を含む）を促す事項 |
| 🛇 禁止 | 決しておこなってはいけない禁止事項 |
| ❗ 強制 | 必ずおこなっていただく強制事項 |

### ⚠ 警告 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **強制** 本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具を着用し作業を行って下さい。
- **禁止** 製品を取り外す際、配管内の圧力が完全にゼロまで下がっていない場合は、絶対にボルトを緩めないで下さい。
- **強制** 流体が本製品の適用範囲内であることを確認して下さい。（流体の種類・流体温度：－5～35℃）
- **強制** 使用圧力が適用範囲内であることを確認して下さい。
- **強制** 埋設管に使用する場合は必ずステンレスボルト仕様品（標準品）を選択いただき、腐食防止のため、ペトロラタム系の防食テープ等で必ず防食処置を行って下さい。
- **禁止** 使用者は構成部品の組ばらしを当社の許可無く行わないで下さい。

### ⚠ 注意 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

- **禁止** 直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、および振動が激しい場所には保管・放置しないで下さい。
- **強制** 配管内の流体が凍結する恐れのある寒冷地域で使用する場合は、保温や循環または水抜き等の適切な処置を行って下さい。
- **注意** 本製品では管の熱伸縮は吸収できません。管の熱伸縮が想定される場合は、別途伸縮継手等を配置して下さい。
- **強制** ボルトの締め付けには必ずトルクレンチをご使用いただき、当社が規定するトルク値にて締め付けて下さい。（締め付け量の不足による漏洩やボルトが破断する原因になります）
- **注意** 腐食環境で使用する場合は、状況に応じて防食処置や定期的な確認を行って下さい。
- **強制** 地震や水撃等の外力によって本製品に過度な曲げモーメントが作用する恐れがある場合は、配管が許容値以上に曲がらないように強固な固定を施して下さい。
- **強制** 塩ビ管に使用する場合はトルク値による管理ではなく、ケーシングがスペーサーに密着するまで締め込んで下さい。
- **注意** 正しく施工できていなかった等で施工のやり直しをする際は、必ず手で回せるぐらいまでボルトを緩めて下さい。無理にカップリングを回転させたり、グリップリングが喰い込んだまま取り外そうとすると、管や製品にダメージを与えてしまう場合があります。
- **禁止** ソケット部から塩素系殺菌剤の注入は、絶対に行わないで下さい。腐食する可能性があります。

## 使い回しの際のご注意

本製品は使い回し可能ですが、その場合は必ず「クロモリボルト（白銀色）製品」をご指定下さい。

⚠ ご指定いただかない場合は、標準仕様の「ステンレス製ボルト（黒褐色）」が装着された製品となります。

**使い回し回数の制限**
- ●配管が鋼管・塩ビ管の場合…**10回**
- ●配管がステンレス鋼管の場合…**5回** を限度とします。

### ⚠ 警告 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **禁止** 配管内の流体が前回と異なる場合は、使い回しはしないで下さい。
- **強制** 使い回しの回数制限は、必ず遵守して下さい。なお、制限内でも使用環境によっては、使い回しできなくなる場合もあります。
- **強制** 取り外しをする際は、配管内の圧力がゼロであることと、流体が残留していないことを確認して下さい。

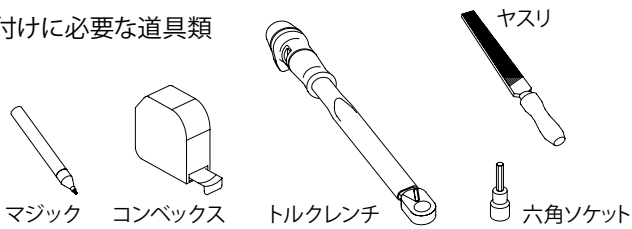
### ⚠ 注意 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

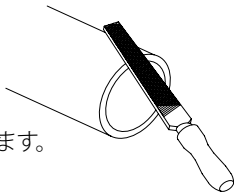
- **注意** 取り外した際の製品内部の残液の飛散にご注意下さい。
- **強制** 取り外した製品は汚れを除去し、ビニール袋等に入れ、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- **強制** 再取り付けをする際は、ボルトの首下とネジ部にグリスを適量塗布してからご使用下さい。
- **強制** 再取り付けの際のボルトの締め付けは、スペーサーが装着されている製品に限り、ケーシングがスペーサーに密着するまで締め込んで下さい。（トルク値よりスペーサーの幅を優先して下さい）

1-1505-500（B）

# 施工手順書

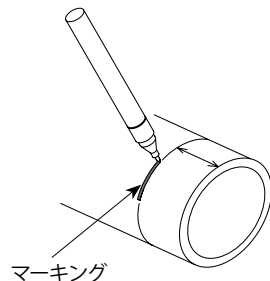
## 1 作業前の準備

◆取付けに必要な道具類

◆パイプの清掃

・切断時のバリや汚れを取り除きます。
・キズ等の凹凸はヤスリ等で滑らかにします。

## 2 マーキング作業

・パイプにマーキングをし、
継手の取付け位置を決めます。

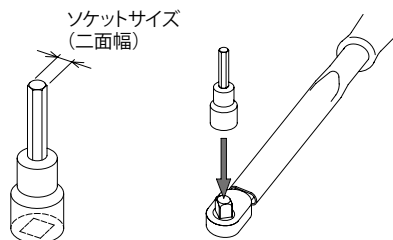
管端からマーキング位置までの
位置寸法は下表の通りです。

| 呼び径 | 寸 法 |
|---|---|
| 50 | 34mm |
| 65 | 42mm |
| 80 | |
| 100 | |
| 125 | 50mm |
| 150 | |

取水のために、管と管の隙間を10mm 離す必要があります。

## 3 トルクレンチのセット

◆六角ソケットの取付け

・ソケットはボルトのサイズによって異なります。

| 呼び径 | ソケットサイズ |
|---|---|
| 50 | 6mm |
| 65 | 8mm |
| 80 | |
| 100 | |
| 125 | 12mm |
| 150 | |

◆トルク値の設定

・カップリング本体のラベルに表示されている『締め付けトルク値』と、トルクレンチの主目盛を合わせます。

※詳しくはトルクレンチ添付の取扱説明書をご覧下さい。

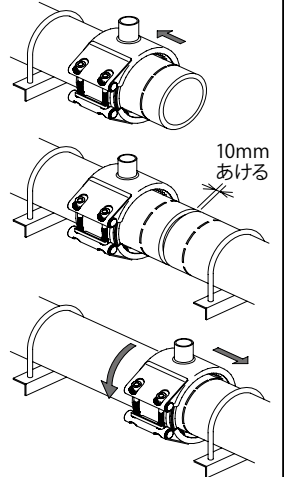
## 4 カップリングの配置

①片側のパイプにカップリングを差し込みます。（ボルトを緩める必要はありません）

②もう一方のパイプを配置します。

管の隙間を10mmあけて配置してください。

③マークした位置までカップリングを横移動させます。

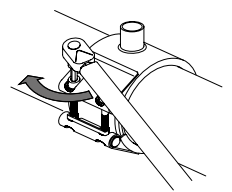
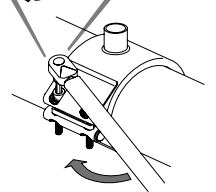
グリップリングの歯でパイプに傷が付かないように注意してさい。

## 5 ボルトの締付け

・目安としては、片側のボルトを3回転程度締め付けたら、もう一方のボルトに移り、同様に締め込みます。この作業を繰り返します。

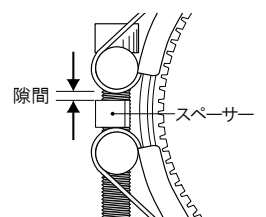
ボルトが片締めにならないように充分にご注意下さい。

◆締付け作業完了

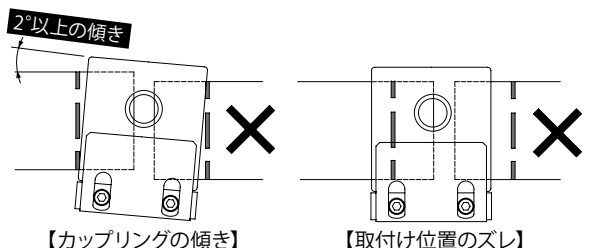
・設定したトルク値になると、トルクレンチが『**カチン！**』と合図します。

・もう片方も合図があるまで締め込みます。この作業を**5～6回繰り返し行い**、左右のボルトが均等に所定のトルク値になるまで締め込みます。

◆締付けの確認（締忘れ防止機能）

・カップリングを横から目視して下さい。右図のように『スペーサー』が本体と密着していない場合は、トルクレンチを使用し所定のトルク値で増し締めを行って下さい。

ただし、曲がり配管や、芯ズレがある場合は、密着しないことがあります。この場合はスペーサーではなく、トルクレンチでのトルク値管理を行って下さい。

## 6 施工の確認

・下図のような場合は一度外して、**取り付け直して下さい。**

【カップリングの傾き】　【取付け位置のズレ】

カップリングが正しく施工されていないと、取水できない場合や事故の原因につながることがあります。